

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	28.5%	43.0%	28.5%	利用人数が多い時に、狭いと感じる。 室内運動スペースが30mもあるので、対応を検討する
	2	職員の配置数は適切であるか	57.2%	28.5%	14.3%	有資格者7名、指導員2名、学童児童指導員1名と送迎 専門スタッフで、対応できている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	14.2%	14.2%	71.6%	重度障害の受入は現在も含め、受入の予定はありません。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	85.7%	14.3%	0.0%	毎日振り返りを行い、全職員で共有を実施しています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか			3%	保護者向けアンケート毎年実施し、それに基づいて、事業内容の見直し改善を実施しています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等公開しているか	57.2%	28.5%	3%	毎年、4月に評価の更新を行っています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	85.7%	14.3%	0.0%	令和1年度より第三者委員会を立ち上げ、地元の民生児童員が主体となる、小中高生代表保護者から構成される第三者委員会を5月、11月の定期開催を行っている
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100.0%	0.0%	0.0%	内外部の必要な研修は、ほぼ毎月行っています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100.0%	0.0%	0.0%	年に1回、又は必要とならば、アセスメントを実施し、きめ細かい支援計画と支援を行っております。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	85.7%	14.3%	0.0%	統一されたアセスメントシートを利用しております。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100.0%	0.0%	0.0%	全職員で共有しております。 令和1年度は、①購買体験プログラム ②食育プログラム ③音楽療育プログラム ④地域活動育成プログラム を実施中である。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100.0%	0.0%	0.0%	全職員で工夫しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	85.7%	14.3%	0.0%	各療育プログラムと支援計画が一体になった取り組みを行っています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	71.5%	28.5%	0.0%	集団活動では、ほのぼの合唱団を利用したり、各種プログラムを取り入れている。また、小学生は主に集団療育を行い、中学生は、パソコン操作や簡単な就労移行に繋がるプログラム療育計画している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100.0%	0.0%	0.0%	ブリーフィングは必ず行い、日直制を取っており、全職員が責任を持って対応できるよう工夫しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100.0%	0.0%	0.0%	振り返り（ブリーフィング）は、当日担当した職員で行い、書面を持って、お休みの職員にも情報を共有するシステムを行っています。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	85.7%	14.3%	0.0%	利用者の利用記録は、個別に支援計画内容に沿った記録と、その他気が付いた事を記録しております。	
18	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100.0%	0.0%	0.0%	6か月以内にモニタリング評価を行い、成長や課題の増加などがある場合は、保護者と面談の上、見直しを行っています。	

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	85.7%	14.3%	0.0%	全て、放課後等デイサービス ガイドラインに準じて、支援を行っています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	85.7%	14.3%	0.0%	管理者、児童発達支援管理責任者の2名体制と、必要に応じて、その児童の担当者が追加で参加します。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	100.0%	0.0%	0.0%	各関係諸機関との連携は密に取れています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	85.7%	0.0%	14.3%	医療連携が必要な児童については、保護者とも連携を取っています。（主に多いのがてんかんについて）精神に関する服薬、薬剤の知識を研修している。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解を促しているか	100.0%	0.0%	0.0%	児童発達支援事業所の相談員含めて、就学前の情報を十分に提供してもらい、一緒に支援内容を検討していますが、主に計画相談員よりの情報で概ね理解できる。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害児サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	100.0%	100.0%	4.4%	実際には、まだ卒業生がおりませんが、必要であれば、支援情報は提供いたします。又、引越しや、他の事業所への移動の際は、次に繋がる支援計画（終了）を作成し、保護者へ提供している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100.0%	3%	0%	密に連絡を取り合い、相互理解の上、支援計画に繋げています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	57.1%	28.5%	14.4%	児童センターや、地域の公園等、健常の児童との交流や別支援施設と交流会を定期的実施している。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	42.8%	28.6%	28.6%	社協の各種イベントには、積極的に参加しております。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100.0%	0.0%	0.0%	令和1年度より、LINEをとおして、日々の情報をお伝え連絡帳を介在して、利用日の様子を保護者へお伝えしておりますが、必要なら、管理者、児童発達支援管理責任者より直接連絡を行っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	57.2%	42.8%	0.0%	管理者、児童発達支援管理責任者が必要な時に行っております。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100.0%	0.0%	0.0%	契約時における利用者負担額や、イベント等の別途必要な経費については、事前にお知らせの上、参加の希望を行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に対応し、必要な助言と支援を行っているか	85.7%	14.3%	0%	連絡や、当所から積極的にご連絡をさせていただいております。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	85.7%	14.3%	0.0%	保護者懇談会、その他イベント等での保護者間同士の交流を推奨しております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100.0%	0.0%	0.0%	正確な情報を基に、保護者への説明並びに解決を、管理者より行い、早期解決と再発防止に務めております。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100.0%	0.0%	0.0%	毎月、通信を発行し、日頃の様子をわかりやすく、発信しております。現在では、情報発信はLINE を使用して行っております。
	35	個人情報に十分注意しているか	100.0%	0.0%	0.0%	主として個人情報に係る書類は、加錠できる書庫に管理され、パソコン内のデータは、パスワードロックを行っております。また、職員研修を適時行い、意識付けを行っております。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100.0%	0.0%	0.0%	児童に対しては、文字として視覚、「ことば」での情報伝達を主で行い、保護者へは、連絡帳を介して書面にて情報等を伝達しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	85.7%	14.3%	0.0%	社会連帯活動も行っております。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100.0%	0.0%	0.0%	全てのマニュアルを一元化し、保護者と職員に同じ危機管理マニュアルを配布し、職員は定期的に読み合わせ、机上訓練を行っております。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100.0%	0.0%	0.0%	定期的に、火災、震災、洪水、防犯の災害時訓練を行っております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100.0%	0.0%	0.0%	埼玉県の行う研修、並びに、振り返り等で確認し、情報を共有しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	71.5%	28.5%	0.0%	3つの原則を、利用児童に当てはめた訓練を行っております。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	85.7%	14.3%	0.0%	アセスメントや、健康カードにてアレルギーについて対応しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	71.5%	28.5%	0.0%	ヒヤリハット、事故報告書は、全職員が共有し、再発防止に務めています。